



未来は、ミルクの中にある。

雪印メグミルク

証券コード  
2270

# 個人投資家向け会社説明会

2017年7月

## 目次

---

1. 会社概要・沿革
2. 事業内容
3. 2016年度の業績状況&前中期経営計画の総括  
(2017年3月期)
4. 雪印メグミルクグループの長期ビジョン&計画
  - (1) グループ長期ビジョン2026
  - (2) グループ中期経営計画2019
  - (3) 2017年度の連結業績予想  
(2018年3月期)
5. CSR経営

# 1 会社概要・沿革

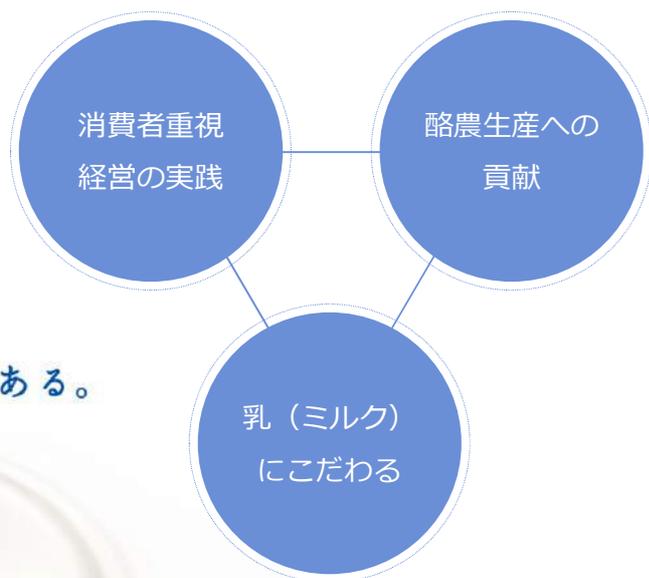


## グループ企業理念 [ 1 ]

雪印メグミルクグループは、  
3つの使命を果たし、  
ミルクの新しい価値を創造すること  
により、社会に貢献する企業であり  
続けます。

「コーポレートスローガン」

**未来は、ミルクの中にある。**



## グループ企業理念 [ 2 ]



コーポレート  
シンボルマーク

### 会社概要

商号	雪印メグミルク株式会社 MEGMILK SNOW BRAND Co.,Ltd.
設立年月日	2009年（平成21年）10月1日
所在地	（本社）東京都新宿区本塩町13番地 （登記上本店）北海道札幌市東区苗穂町6丁目1番1号
資本金	200億円
従業員数	4,887名（連結、2017年（平成29年）3月31日）
上場取引所	東京証券取引所、札幌証券取引所
代表取締役社長	西尾 啓治

5

## 創立者たち



宇都宮仙太郎



黒澤西蔵



佐藤善七



### 健土健民

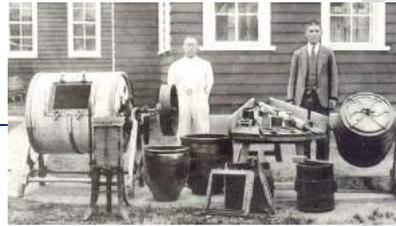
健全な土地が健全な食料をもたらし、  
健全な食料が健全な人間を形成する。

6

## 沿革 [1]

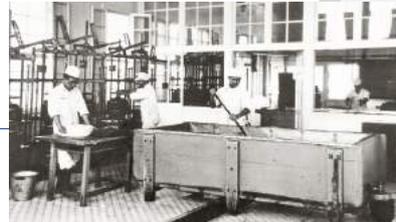
### 雪印メグミルクの歴史は 北海道バターから始まりました

創業と同時にバター製造を開始。集乳体制を整え、分離機の使い方から指導した。1926年（昭和元年）に近代的工場ができてからは、最高級品だけを「雪印北海道バター」として販売し、信頼を築いた。



### 日本で初めてチーズの 大規模製造を始めました

1928年（昭和3年）ごろからチーズの研究・試作、試験販売を始め、1932年（昭和7年）には工場を建設し製造をスタート。1934年（昭和9年）の発売直後から売り切れ続出の盛況で、またたく間に日本初の大規模チーズ専門工場となった。



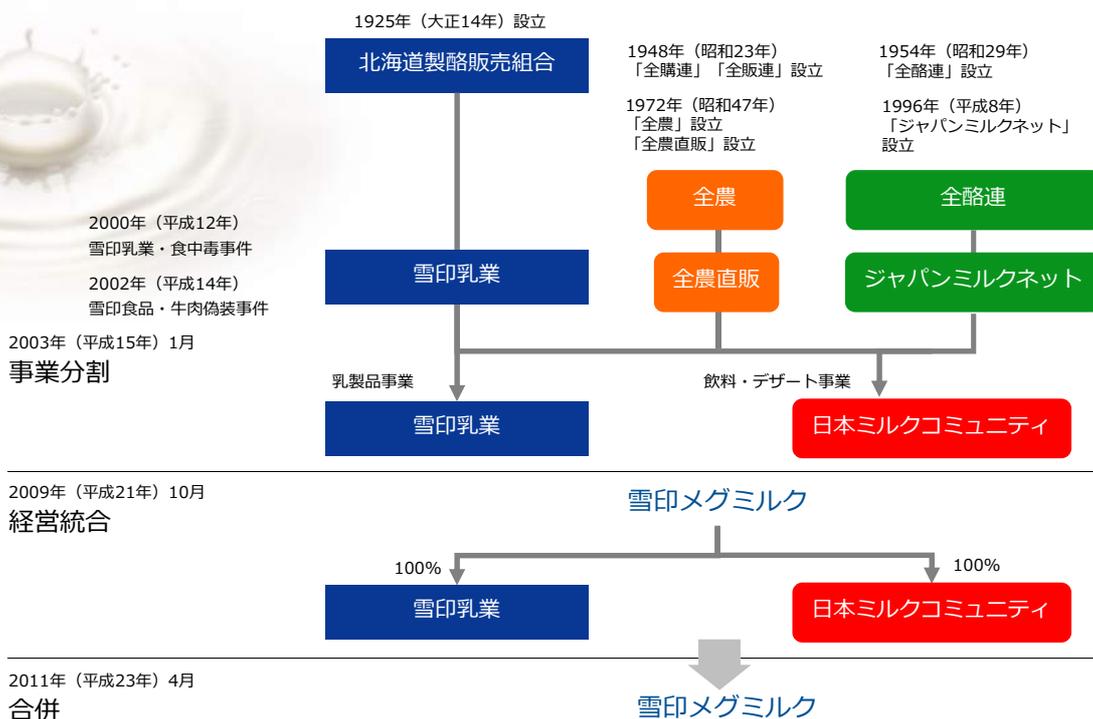
### 研究を通して、 ミルクの未来を拓いてきました

研究部門が設置されたのは1933年（昭和8年）のこと。加工技術や成分、乳酸菌の研究を行ってきた。その後、札幌研究所、技術研究所（現ミルクサイエンス研究所／埼玉県）、チーズ研究所（山梨県）を開設し、本格的な研究体制を整えた。



## 沿革 [2]

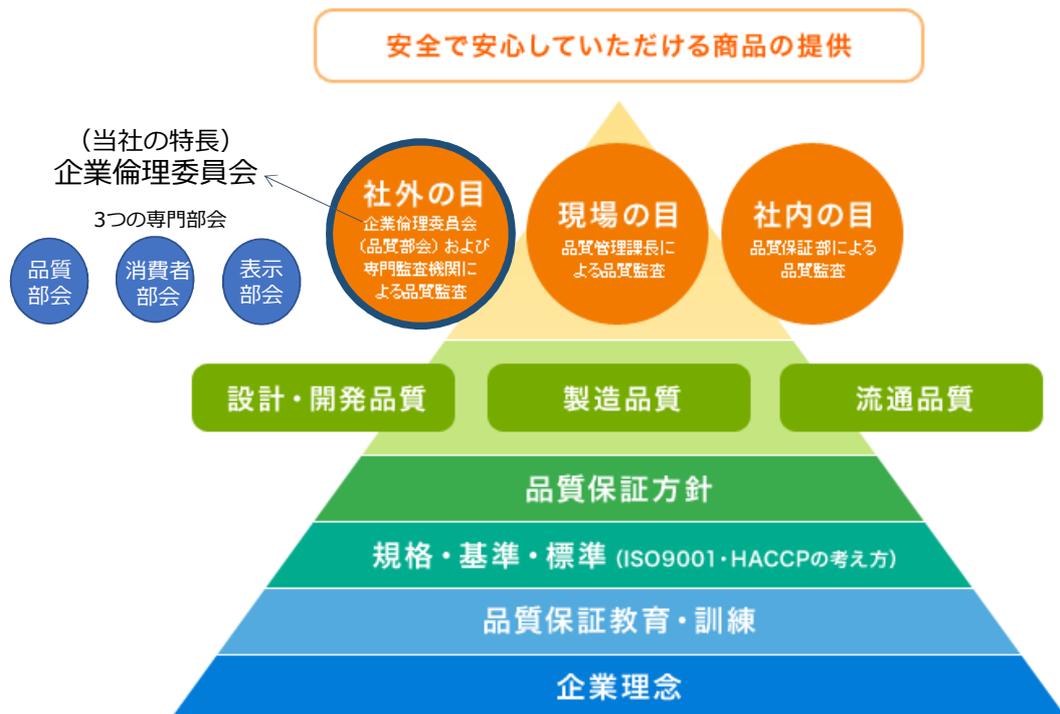
### 雪印メグミルク設立経緯



### 食の責任を強く認識し、果たしていくことを誓う日の活動 ～雪印の事件を風化させない～

- ・毎年、2つの事件が発生した6月と1月に実施しています。
- ・社外有識者による講演、品質に関する理解度テストの実施、食中毒事件当時の報道番組の視聴などを実施しています。
- ・事件経験者に加え、未経験者も含めたパネリストによる討論、会場の役員を含めた参加者同士（2～3名）による意見交換を行っています。
- ・活動内容は動画におさめて、全社で共有しています。

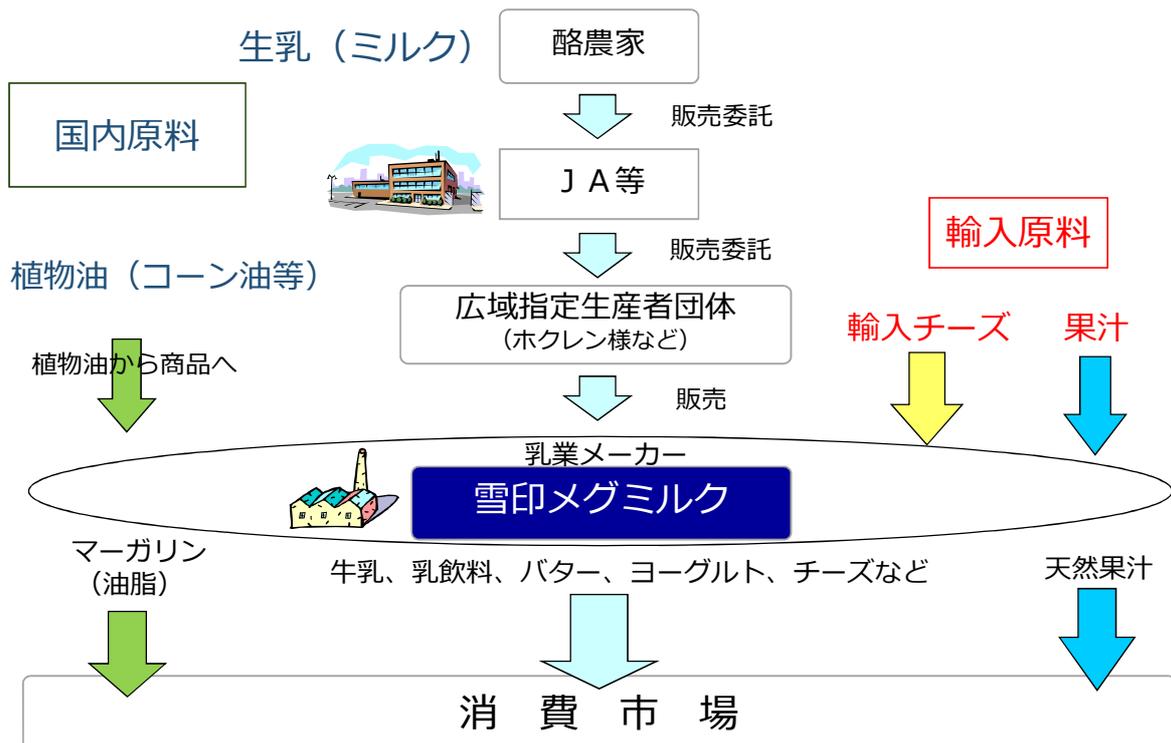
## 雪印メグミルク品質保証システム（MSQS）



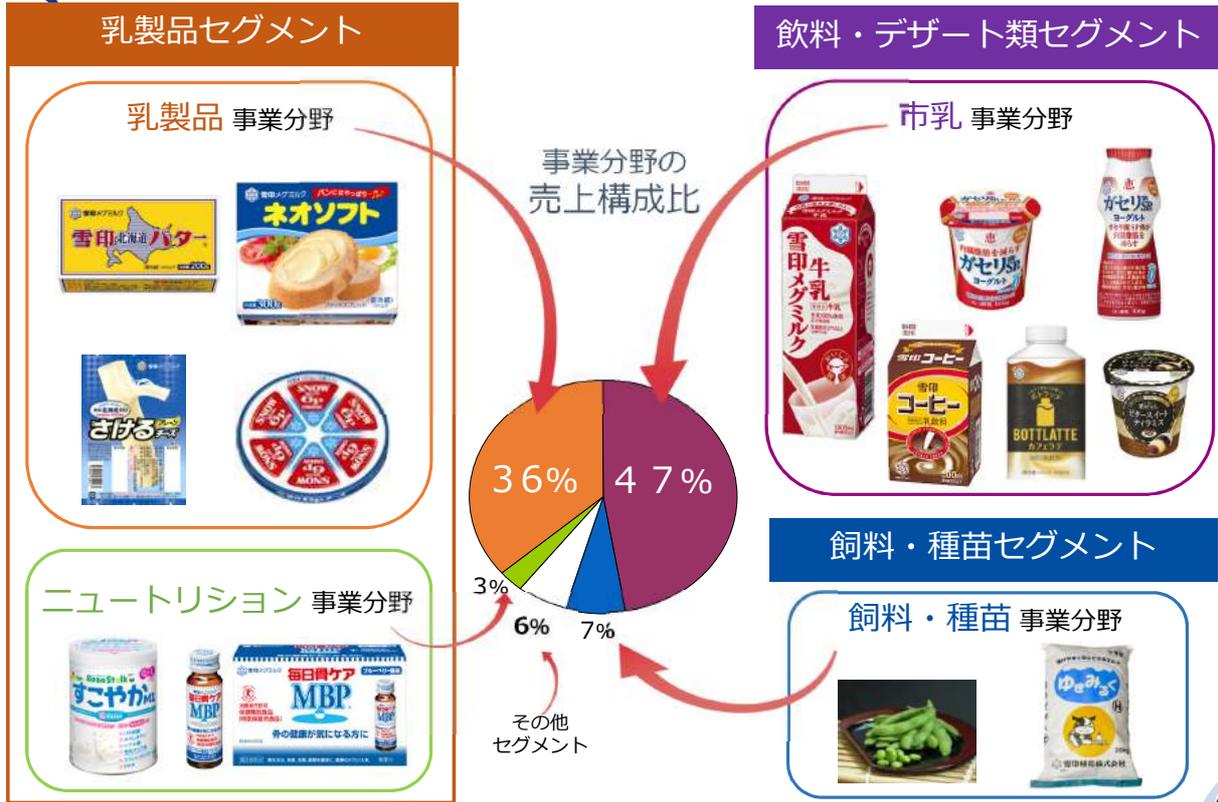
## 2 事業内容



### 事業のしくみ（概要）



# セグメント



# 事業内容

## 事業分野と概要



未来は、ミルクの中にある。

**雪印メグミルクグループ**



乳製品

バター、油脂、  
チーズ（国内・国外）、  
その他乳製品 など



市乳

牛乳・乳飲料、ヨーグルト、  
果汁・野菜・清涼飲料、  
デザート など



ニュートリ  
ション

粉乳（国内・海外）  
機能性食品、栄養剤、  
機能性素材 など



飼料・種苗

飼料、種子（牧草・飼料・  
作物・野菜）・造園  
肥育牛 など

### 事業内容

雪印メグミルク  
甲南油脂  
八ヶ岳乳業  
エスアイシステム  
チェスコ  
雪印オーストラリア  
雪印メグミルクインドネシア  
ニチラク機械

雪印メグミルク  
みちのくミルク  
八ヶ岳乳業  
いばらく乳業  
エスアイシステム  
三和流通産業  
直販配送  
グリーンサービス

雪印ビーンスターク  
雪印メグミルク  
台湾雪印・雪印香港  
雪印上海  
雪印オーストラリア  
イーエヌ大塚製薬  
アミノアップ化学  
ベルネージュダイレクト  
YBS、雪印バーラー、雪印こどもの国牧場

雪印種苗  
雪印種苗アメリカ  
道東飼料  
ロイヤルファーム  
RFベンケル牧場  
RF青森牧場 など

### グループ 企業

## 乳製品事業分野 [ 1 ]



### バター

1925年（大正14年）から製造販売を手がけ、変わらぬおいしさと新しい価値を提供。



### マーガリン

乳製品づくりの技術を活かした豊かな風味や口どけの良い商品を、東南アジアを含め販売。



### プロセスチーズ

1934年（昭和9年）から製造販売を手がけ、2013年（平成25年）からはインドネシアにおいてもチーズを製造販売。



### ナチュラルチーズ

代表的な商品は北海道産の生乳を100%使用した「雪印北海道100」シリーズのカマンベールチーズやさけるチーズ。

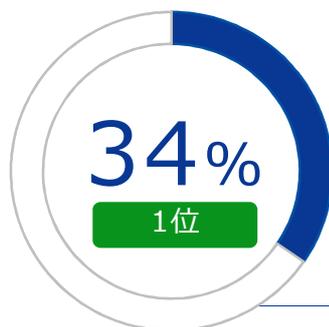


15

## 乳製品事業分野 [ 2 ]



市場シェア（2017年3月期：物量ベース）



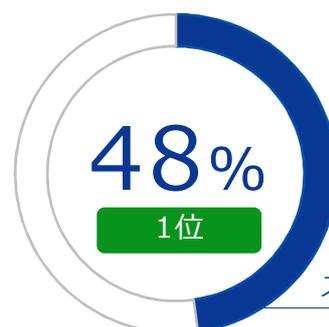
バター



マーガリン



チーズ



スキムミルク

16

## 乳製品事業分野 [ 3 ]



### 事業所・グループ会社



なかしづ工場



大樹工場



雪印メグミルクインドネシア (MSBI)



幌延工場  
興部工場

磯分内工場  
札幌研究所

ミルクサイエンス研究所  
チーズ研究所

八ヶ岳乳業

チエスコ

甲南油脂

雪印メグミルク (本社)



別海工場



阿見工場



雪印オーストラリア

## 乳製品事業分野 [ 4 ]



### 研究開発

#### 雪印メグミルク

ミルクサイエンス研究所  
札幌研究所  
チーズ研究所

総合乳業メーカーにおける研究開発の中心的な担い手として、乳製品の味や食感、チーズ・バターに関する研究やナチュラルチーズの製造技術の伝承など乳製品に関する多岐にわたる分野を研究し、その成果を魅力ある商品につなげている。





こんがり焼ける とろけるスライス



おいしい

こんがり焼けて  
おいしそう

焼けたチーズ  
が 香ばしい

3感を刺激

味覚だけでなく、

視覚、嗅覚からも、おいしさを実感

市乳事業分野 [ 1 ]



牛乳・乳飲料

おいしさキープ製法で作った雪印メグミルク牛乳、カルシウムを強化した機能性乳飲料など。



ヨーグルト

ヒトの腸に生きたまま届き長くとどまる「カセリ菌SP株」を使った「恵 megumi」シリーズなど。



果汁・その他の飲料

Dole®の果汁飲料、農協ブランドの野菜飲料、コーヒーなど。



デザート

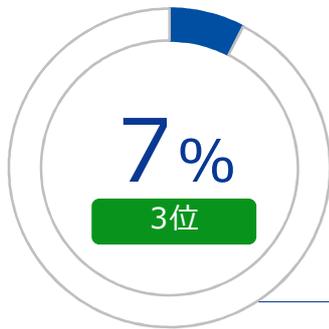
食感やミルクの味わいなどにこだわった、プリン、ゼリーなど。



## 市乳事業分野 [ 2 ]



市場シェア (2017年3月期：金額ベース)



牛乳



乳飲料



ヨーグルト



デザート

## 市乳事業分野 [ 3 ]



事業所・グループ会社





### 研究開発

#### 雪印メグミルク

ミルクサイエンス研究所  
札幌研究所

総合乳業メーカーにおける研究開発の中心的な担い手として、乳酸菌・ミルクの成分と健康機能・加工技術、容器包装など、飲料・デザートに関する多岐にわたる分野を研究し、その成果を魅力ある商品につなげている。



### 【主な学会発表】

#### ガセリ菌 S P 株

- 2012.09.28 内臓脂肪蓄積抑制作用について
- 2012.10.16 歯周病に対する抗炎症作用について
- 2012.10.24 免疫系の活性化とストレス軽減効果について
- 2012.12.05 インフルエンザウィルスに対する感染予防効果について
- 2013.06.05 線虫の寿命延長とその作用機構について
- 2014.10.16 インフルエンザウィルスの感染予防効果メカニズム解明について
- 2015.07.12 ヒト試験で脂質排出作用を確認
- 2016.05.15 エネルギー消費量増加作用を確認
- 2017.04.17 RSウイルス感染防御効果を確認



### 【機能性表示食品として受理】

- 2015.05.25届出 ガセリ菌 S P 株ヨーグルト 3 品
- 2015.06.15届出 ガセリ菌 S P 株ヨーグルト 1 品
- 2016.04.19届出 ガセリ菌 S P 株ヨーグルト (宅配専用) 2 品



“ガセリ菌 S P 株が内臓脂肪を減らす”

機能性表示食品の届出が受理されたガセリ菌 S P 株ヨーグルト

乳酸菌での確認は**世界初!**

(2015年度 4品発売)

(2016年度 2品発売)  
宅配専用



(ドリンクタイプ)



(個食タイプ)



(アロエ)



(豆乳仕立て)



(ドリンクタイプ)



(個食タイプ)

生産増力増強

2016年8月

2017年5月

2018年上期 (予定)



小型プラボトルライン

1ライン⇒2ライン + 小型プラボトル成型機を1機増設

海老名工場  
(東日本)



+ 京都工場  
(西日本)



生産能力は、  
当初の約4倍へ

ニュートリション事業分野 [ 1 ]



粉乳事業

半世紀以上の母乳研究成果を生かし、安心して育児ができる粉ミルクを中心に提供。



機能性食品事業

ミルクから生まれた「MBP」などの機能性素材を使ったサプリメント、健康食品を取揃えている。



臨床栄養事業

「栄養」を科学的に探究・検証し、病気の方や高齢の方の病態・状態を考慮した各種栄養剤、摂食回復支援食および口腔ケア用製品を製造・販売している。



機能性素材事業

「AHCC」、「オリゴノール」等、天然由来素材を活用した機能性健康食品、化粧品素材を提供。



## ニュートリション事業分野 [ 2 ]



### 事業所・グループ会社



## ニュートリション事業分野 [ 3 ]



### 研究開発

#### 雪印ビーンスターク・商品開発部

母乳に含まれる成分や働きの研究、より母乳に近い育児用粉乳の開発を中心に進めている。

#### 雪印メグミルク

ミルクサイエンス研究所  
札幌研究所

総合乳業メーカーにおける研究開発の中心的な担い手として、乳酸菌・ミルクの成分と健康機能、粉乳に関する研究など多岐にわたる分野を研究し、その成果を魅力ある商品につなげている。

#### イーエヌ大塚製薬・開発研究所

大塚グループと共同出資で設立されたイーエヌ大塚製薬の開発研究所では、医療および介護に貢献するために、栄養を科学的に探究・検証し、安心でより優れた製品の開発を進めている。

#### アミノアップ化学・研究部

新しい生理活性物質の探索、有効成分の構造決定、作用機序の解明などの研究を行っている。



雪印ビーンスターク・商品開発部、  
雪印メグミルク・ミルクサイエンス研究所



雪印メグミルク・札幌研究所



# 飼料・種苗事業分野 [ 1 ]



## 飼料事業

「養牛用飼料専用製造ライン」から、地域に合わせた乳牛用、肉牛用配合飼料を供給。



## 種苗事業

牧草・飼料作物、野菜、緑肥作物の種子、花き種苗など。



## 緑化造園事業

公園・街路樹・庭園造成と維持管理、屋上緑化やスポーツ施設の芝生造成。



## 肥育事業

肉用牛の素牛を導入し、肥育、肥育牛の出荷・枝肉販売までを一貫して行う。



# 飼料・種苗事業分野 [ 2 ]



## 事業所・グループ会社



雪印種苗 (本社)



鹿島工場



千葉研究農場



- 雪印種苗 本社・工場
- ▲ 雪印種苗 研究農場
- 雪印種苗 関係会社



TACSしべちや



道東飼料



ロイヤルファーム



雪印種苗アメリカ



## 研究開発

### 雪印種苗・研究農場

(北海道、千葉、宮崎)

牧草・飼料作物、野菜、緑肥作物、  
花き、芝生・植生など多岐にわたる  
分野の原種生産や品種改良を進めて  
いる。



### 雪印種苗

#### 北海道研究農場新研究棟

2017.6月竣工



3

## 2016年度の業績状況

(2017年3月期)

&

## 前中期経営計画の総括



2017年3月期

## 連結業績 [経営成績と配当]

(億円、%)

■ 経営成績 ■	2016年3月期	2017年3月期	増減額	前期比
売上高	5,783	5,879	+96	101.7
営業利益	140	187	+47	133.9
経常利益	142	202	+60	142.5
純利益※	150	129	▲20	86.3

※親会社株主に帰属する当期純利益

### ■ 配 当 ■

普通配当	40円	連結配当性向	20.9%
------	-----	--------	-------

33

2017年3月期

## 連結業績 [セグメント別内訳]

(億円、%)

	乳製品		飲料・デザート類		飼料・種苗		その他	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
売上高	2,323	102.4	2,774	103.0	430	93.6	350	97.3
営業利益	117	123.9	46	201.2	12	145.9	11	83.1

### 主な施策

1. 成長分野（チーズ・ヨーグルト）の事業拡大
2. 戦略投資設備の最大活用
3. 飲料・デザート類の事業構造改革

- ✓ 宣伝促進費の効果的な活用
- ✓ 積極的なプロモーションの展開
- ✓ 生産能力の増強  
(小型ボトルタイプドリンクヨーグルトライン増能)
- ✓ プロダクトミックスの改善

34

## 連結営業利益増減要因の内訳

2016年3月期	2017年3月期	増減額
140億円	187億円	+47億円

増益要因 合計	+80	減益要因 合計	▲33
販売物量増加による利益増	+24	宣伝促進費の増加	▲13
製品構成差	+20	減価償却費の増加	▲10
資材単価差等	+20	その他	▲10
エネルギー単価差	+9		
コストダウン	+7		

## 取組みの成果

- ① 事業構造改革
  - ▶ 生産ラインの集約化、プロダクトミックスの改善 など

---

- ② 戦略投資設備の最大活用
  - ▶ 阿見工場・海老名工場の合理化効果、生産能力の増強

---

- ③ 成長分野の事業拡大
  - ▶ 「ガセリ菌SP株」商品群・主カチーズ群の販売拡大
  - ▶ 機能性素材（MBP®）の商品ラインナップ拡大
  - ▶ インドネシアにおけるチーズ事業の展開拡大 など

---

- ④ 機能強化と体制整備
  - ▶ 資本・業務提携による生産物流体制の強化

## 連結業績推移



## 4 雪印メグミルクグループの長期ビジョン&計画



- (1) グループ長期ビジョン2026
- (2) グループ中期経営計画2019
- (3) 2017年度の連結業績予想

(2018年3月期)



- (1) グループ長期ビジョン2026
- (2) グループ中期経営計画2019
- (3) 2017年度の連結業績予想

(2018年3月期)

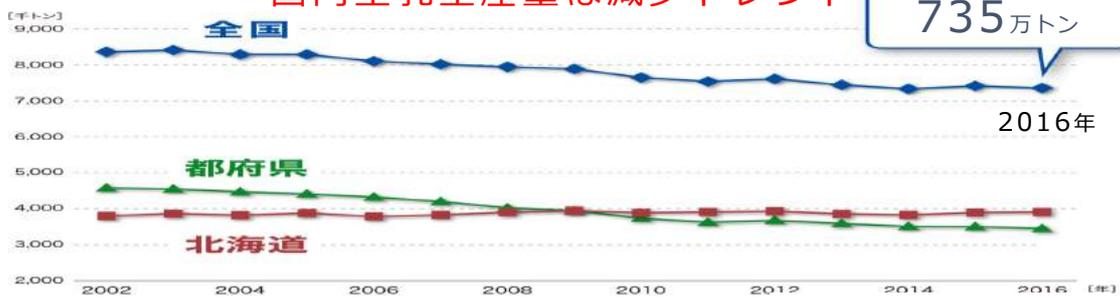


(1) グループ長期ビジョン2026

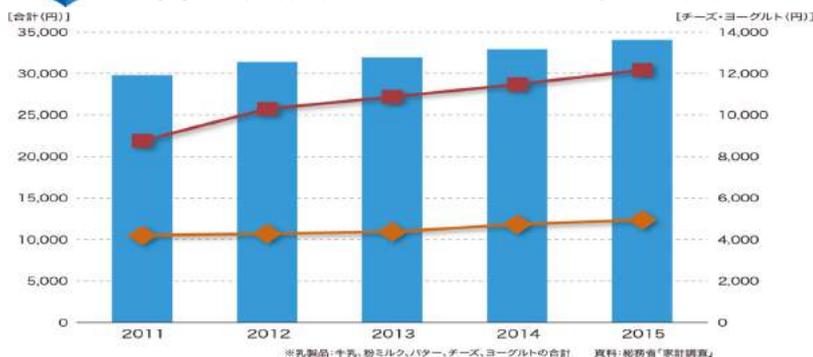
## 環境認識 [国内]

### 国内生乳生産量推移

国内生乳生産量は減少トレンド



### 家計消費支出における乳製品支出動向

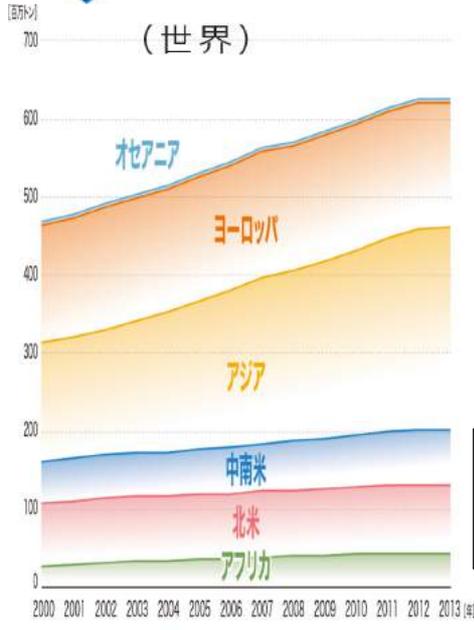


国内乳製品市場は伸長トレンド

- 乳製品
- ◆ チーズ
- ヨーグルト

# 環境認識 [海外]

## 乳製品消費量の動向 (世界)

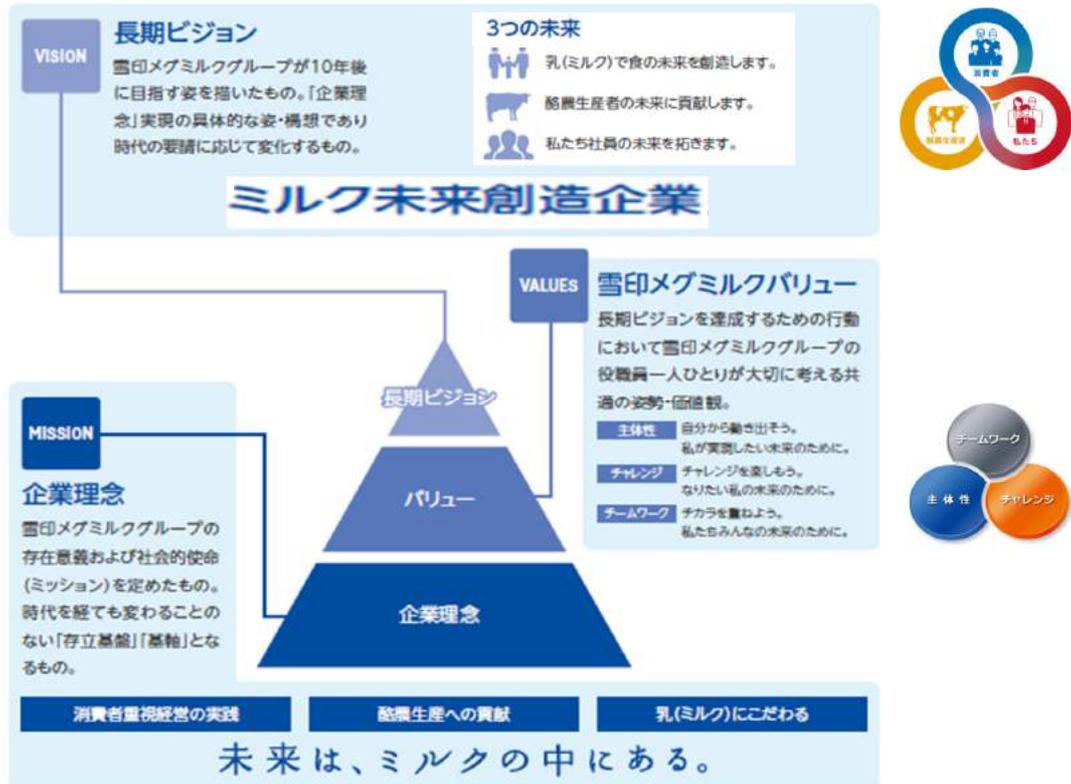


## 「乳の国際化」が進展



世界の乳製品消費量は拡大

# 策定の背景・目的



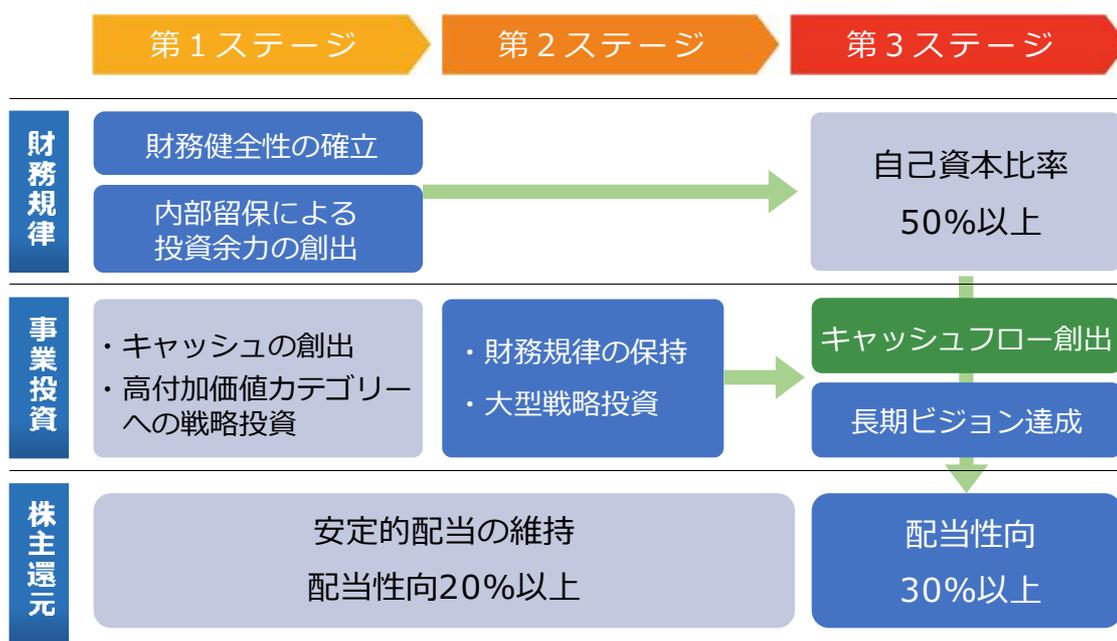


## 戦略のコンセプト [ 3 ]

### 事業ポートフォリオ変革を支える戦略

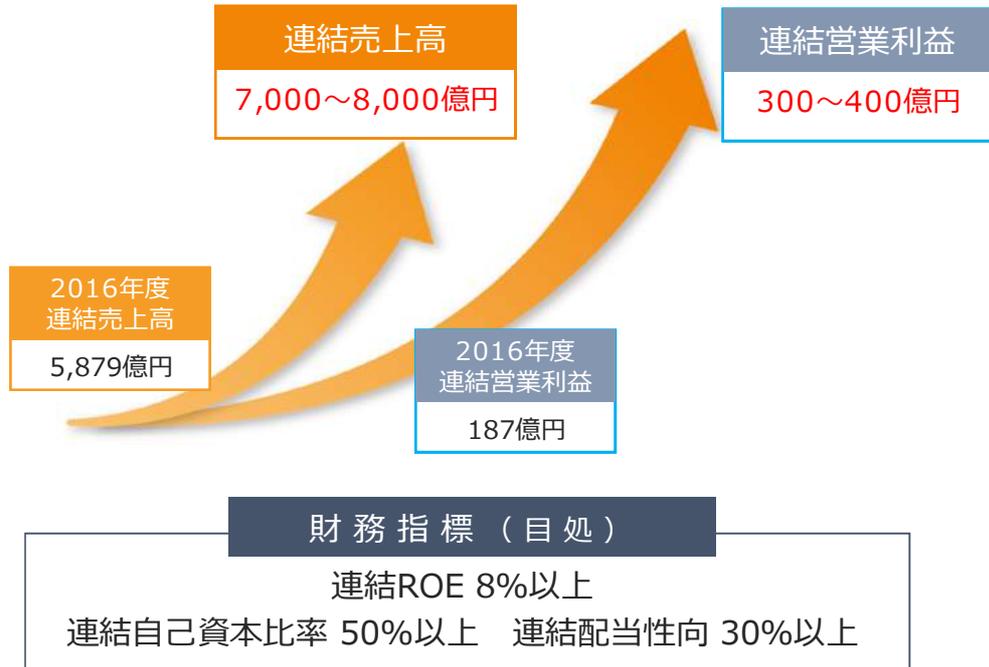


## キャッシュフロー配分方針



## 経営指標

### 2026年度（10年後）のゴールイメージ



## ロードマップ [3つのステージ]

	第1ステージ	第2ステージ	第3ステージ
	2017~2019	2020~2022	2023~2026
位置付け	Transformation （変革）の始動 グループ経営の 始動・推進	Transformation （変革）の加速 グループ経営の 展開強化	Renewal（進化）へ グループ経営の 加速・進化
役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収益基盤の複数化 キャッシュフロー の最大化</li> <li>・生産体制進化への 着手</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・収益基盤の確立</li> <li>・生産体制進化の 本格始動</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4事業分野による 収益の安定的創出</li> <li>・調達・生産体制の 確立</li> </ul>

- (1) グループ長期ビジョン2026
  - (2) グループ中期経営計画2019
  - (3) 2017年度の連結業績予想
- (2018年3月期)



(2) グループ中期経営計画2019

## 戦略のコンセプト

# Transformation（変革）の始動と グループ経営の始動・推進

基本戦略

○ 事業ポートフォリオ変革 ～ グループ収益基盤の強化 ～  
事業ポートフォリオ変革を支える戦略

- 戦略的な調達・生産体制構築による競争基盤の確保
- 研究開発起点の「ものづくり」による新たな価値の創造
- 人材の多様性を尊重した生産性の高い組織の構築  
～成長を支える人材の育成と働き方改革の推進～
- グループ経営資源活用による競争力・総合力の最大化

## 事業ポートフォリオ変革

～ グループ収益基盤の強化 ～



- 1. バターの安定供給とブランド強化
- 2. チーズのボーダレス展開による更なる成長



- 1. 機能性を軸としたヨーグルトの戦略的拡大
- 2. プロダクトミックスの最適化



- 1. 機能性食品事業の成長モデル構築
- 2. 価値訴求による粉乳事業の競争力強化



- 1. 種苗事業の戦略的拡大
- 2. 飼料事業の効率化による収益性向上



## 主力商品群強化による市場拡大

### 1 バターの安定供給とブランド強化



### 2 家庭用主力チーズの販売強化と生産体制強化

- 大樹工場インフラ整備
- 国産ナチュラルチーズ強化  
(カマンベール・さけるチーズなど)
- プロセスチーズ主力商品拡大  
(6P・ベビーチーズなど)



[ 大樹工場 ]



### 3 業務用チーズの新市場開拓

- スライス・ダイス・シュレッドチーズの拡販
- ソフトチーズの新商品投入



# 事業ポートフォリオ変革による収益基盤の強化 [ 3 ]



## チーズのボーダレス展開による更なる成長

1 国産商品の輸出 (家庭用・業務用)

2 海外生産・海外販売拡大

- 雪印メグミルク商品展開
- 海外拠点の活用



雪印メグミルクインドネシア

雪印オーストラリア

プロセスチーズ拡大

ナチュラルチーズ拡大



# 事業ポートフォリオ変革による収益基盤の強化 [ 4 ]



## 機能性ヨーグルトの戦略的拡大

1 生産能力の増強、供給体制強化 → 80億円設備投資

◇ ドリンク

海老名工場 + 京都工場 ライン新設

◇ ハード

◇ プレーン

海老名工場

海老名工場

◇ ソフト

協同乳業

2 商品ラインナップの拡大

3 マーケティング強化



ガセリ菌 SP 株認知度アップ



## プロダクトミックスの最適化

### 1 デザート・パーソナルタイプの商品力強化

ルナ物産 デザートライン新設



### 2 乳飲料の高付加価値化



## 機能性食品事業の成長モデル構築

### 1 毎日骨ケアMBP®を軸とした市場拡大

### 2 商品ラインナップの拡大

### 3 マーケティング投資の強化



<機能性食品事業の売上高推移>





## 価値訴求による粉乳事業の競争力強化

～ 国内外の拡大展開 ～

海外

- 1 海外粉乳事業としての新たな展開  
[妊産婦向け・成人向け粉乳導入拡大]



- 2 海外ブランド統一  MEGMILK SNOW BRAND

国内

- 3 独自性のある育児用粉乳事業推進  
[母乳研究継続、Web活用]



## 種苗事業の戦略的拡大

- 1 (牧草・トウモロコシ)  
飼料作物・野菜・緑肥作物・微生物事業の  
伸長による収益性の拡大



チモシー【ホライズン】



エダマメ【夏風香】



緑肥種子 業界No.1

- 2 新研究棟を利用した競争力のある  
新品種・新技術の開発



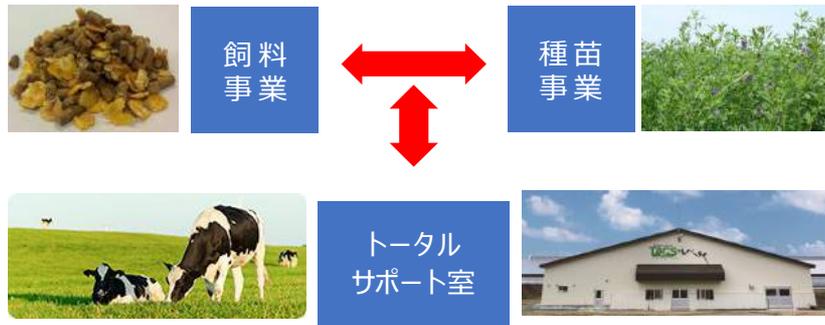
雪印種苗株式会社  
北海道研究農場新研究棟  
2017.6月竣工



## 飼料事業の収益性向上

### 1 総合提案型営業の推進

[ 牧草・飼料などの商材と技術サポートを組み合わせた営業展開 ]



### 2 効率的な調達・生産・物流体制の構築

戦略的な調達・生産体制構築による 競争基盤の確保	研究開発起点の「ものづくり」による 新たな価値の創造
①グループ会社・パートナーとの連携強化 ②国内外における安定調達推進 ③国内乳資源の確保と有効活用 ④将来を見据えた生産体制進化への着手	①研究開発起点の付加価値創出 ◆研究開発体制・機能の強化 ◆オープンイノベーションの推進 ②需要創造型・高付加価値商品の開発推進 ③マーケティング機能の強化
人材の多様性を尊重した 生産性の高い組織の構築	グループ経営資源活用による 競争力・総合力の最大化
～成長を支える人材の育成と働き方改革の推進～ ①人材の多様性確保 ◆女性活躍推進、採用の多様化 ②業務改革 ◆時短推進・在宅勤務導入 ③人材育成 ◆新たな研修体系、グループ人材育成	①グループ・バリューチェーンの強化 ◆グループ会社・パートナーとの連携 ②グループ・コーポレート機能の強化 ◆ガバナンス ◆品質保証 ◆環境活動

## 経営指標 [ 1 ]

## 目標経営指標（連結）

	(億円)		
	2019年度 目標値	2016年度 実績	伸長率 (2016年度対比)
売上高	6,300	5,879	107.2%
営業利益 (利益率)	220 (3.5%)	187 (3.2%)	117.6%
EBITDA	400	338	118.3%

## 経営指標 [ 2 ]

## セグメント別売上高／営業利益

	(億円)					
	2019年度目標値		2016年度実績		伸長率(2016年度対比)	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
 乳製品	2,500	130	2,323	117	107.6%	111.1%
 飲料・デザート	3,000	70	2,774	46	108.1%	152.2%
 飼料種苗	440	12	430	12	102.3%	100.0%
 その他	360	8	350	11	102.8%	72.7%
合計	6,300	220	5,879	187	107.2%	117.6%

投資および財務状況等の見通し

項目	水準（目処）
設備投資額	770億円（3年計）
連結ROE	8%以上
連結自己資本比率	40%以上
連結配当性向	20%以上
連結有利子負債残高	約750億円（2019年度末）

(1) グループ長期ビジョン2026  
(2) グループ中期経営計画2019  
(3) 2017年度の連結業績予想  
(2018年3月期)

2018年3月期（連結業績予想）

## 連結業績予想 [経営成績と配当]

(億円、%)

### ■ 経営成績 ■

	2017年3月期	2018年3月期	増減額	前期比
売上高	5,879	6,000	+120	102.1
営業利益	187	195	+7	104.0
経常利益	202	205	+2	101.1
純利益※	129	130	+0	100.1

※親会社株主に帰属する当期純利益

### ■ 配 当 ■

普通配当	40円	連結配当性向	20.9%
------	-----	--------	-------

65

2018年3月期（連結業績予想）

## 連結業績予想 [セグメント別内訳]

(億円、%)

	乳製品		飲料・デザート類		飼料・種苗		その他	
	業績予想	前期比	業績予想	前期比	業績予想	前期比	業績予想	前期比
売上高	2,375	102.2	2,842	102.4	421	97.9	362	103.2
営業利益	112	95.6	61	131.9	10	79.7	12	108.9

乳製品セグメントのうち、  
ニュートリション事業

売上高	216	113.7
-----	-----	-------

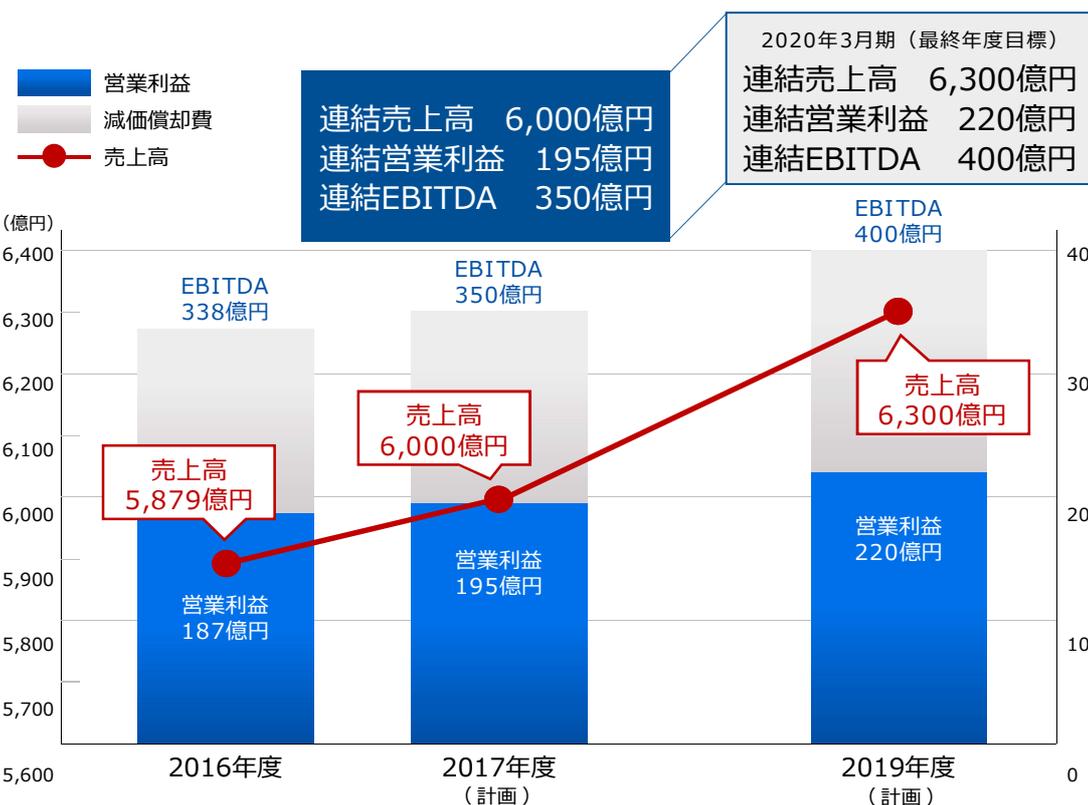
66

## 連結営業利益増減要因の内訳

2017年3月期	2018年3月期	増減額
187億円	195億円	+7億円

増益要因 合計	+70	減益要因 合計	▲63
販売物量増加による利益増	+38	宣伝促進費の増加	▲23
製品構成差	+24	資材単価差等	▲16
販売単価差	+5	乳価差	▲8
コストダウン	+3	減価償却費の増加	▲5
		エネルギー単価差	▲4
		その他	▲7

## 定量目標

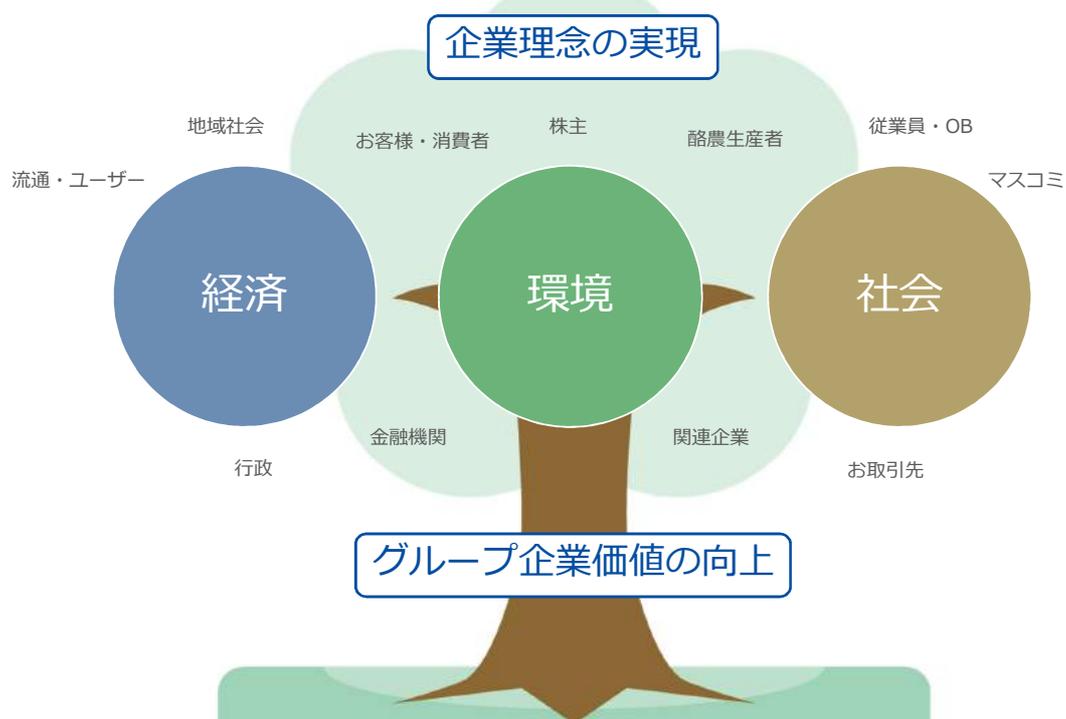


## 5 CSR経営



### CSR経営 [ 1 ]

雪印メグミルクグループCSR概念図



## CSR経営 [ 2 ] 経済側面

安全で安心していただける商品・サービスの提供を通して皆様の健康に寄与する



独自の品質保証システムによる品質管理の徹底



お客様の声の傾聴（お客様センター）



ミルクの価値を高める商品の提供  
（日本食糧新聞「優秀ヒット賞」）



生乳生産量の拡大と酪農振興（TACSしべちゃ）



## CSR経営 [ 3 ] 環境側面

かけがえのない地球環境の保全に貢献する



ISO14001の認証取得



燃料転換によるCO<sub>2</sub>の削減  
（別海工場 液化天然ガス貯蔵タンク）



環境意識の向上（環境教育、研修の実施）



緑化活動の推進（北海道庁前に花壇の設置）

# CSR 経営 [ 4 ] 社会側面

社会の要請に的確に応え、食の楽しさと大切さを皆様に提供する



特殊ミルクの製造・供給



食育活動



酪農と乳の歴史館



スポーツ支援（雪印メグミルクスキー部）



地域貢献活動（牧場まつり 雪印こどもの国牧場）



スポーツ大会への協賛（女子サッカー）



## 「ミルク未来創造企業」へ



# 未来は、ミルクの中にある。



本資料に記載されている業績予想などの将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、業況の変化等により、本資料の予想数値と異なる場合があります。